

報道関係各位

PRESS RELEASE <その他>

2012 年 9 月 6 日

ザ・ペニンシュラ香港 東洋の貴婦人が最新のゲストルームテクノロジーを導入 タワー棟の客室をリニューアルオープン！

“東洋の貴婦人”と称され、「スエズ運河以東で最高のホテル」となるべく 1928 年 12 月 11 日に開業したザ・ペニンシュラホテルズの旗艦ホテル、ザ・ペニンシュラ香港(所在地: Salisbury Road, Kowloon, Hong Kong, SAR、総支配人: レイニー・チャン)では、ビクトリア湾と九龍(カオルーン)の街並みや香港島の景観をお楽しみいただけ、香港のランドマークとして長い歴史を刻むモダンなタワー棟(17 階～27 階)の全客室とスイートルームをリニューアルオープンいたしました。17 年前の 1994 年 12 月 1 日に完成した当時の重厚な風格を保ちながら、更なる快適さを追求した新たな姿を存分にご堪能いただけます。



2012 年 1 月 8 日より開始したザ・ペニンシュラ香港の改装は長い歴史を刻む本館(2 階～6 階)へと移り、開業 85 周年にあたる 2013 年の 4 月に完全リニューアルオープンをいたします。

今回の大規模な改装は、ザ・ペニンシュラホテルズのデザインチームと、アメリカ合衆国イリノイ州・シカゴに本社を置き主にホテルなどのホスピタリティ設計やデザインを手掛ける「ゲティーズ」により構成された設計チームが手掛け、最高の素材や熟練の職人技を駆使し、最高級の贅沢さを備えたシンプルかつエレガントなモダンクラシックスタイルの客室空間を生み出し、ワンランク上の快適なご滞在をご堪能いただけます。



豪華ヨットや高級車、プライベートジェットの内装のような、細部にわたるデザインの美しさや実用性を兼ね備えた客室は、暖かく落ち着いた高級感を演出する色合いがアクセントとなりワードローブの縫い目から、ヴィンテージトラベルトランクからヒントを得た引出しの持ち手、美しい光沢が特徴のバールウッドキャビネットなど、高度な職人技や洗練されたインテリアが随所に見られ、気品ある安らぎの空間を演出しています。また、マットな質感が特徴的なマホガニー材のダイニングテーブルやイタリア“カッシーナ”のソファ、イタリア“ポルトローナ・フラウ”のダイニングチェア、引き出し式のドリンクホルダーが付いたアームチェア、マガジンラックなどが配置された居心地の良い空間が至福のひとつを演出いたします。

今回、リニューアルされた新しい客室の隅々には、最先端のゲストルームテクノロジーを導入しています。ザ・ペニンシュラホテルズは、ホテル業界の中で唯一、社内に独自の技術開発部門 (ESD=Electronic Service Department) を設置しており、お客様の日々進化するIT技術へのニーズの更に上を目指し、業界のリーダ的存在として快適な滞在環境を生み出すための客室内使用機器を独自開発しています。1985年に設立され、香港島のアバディーンに拠点を置く技術開発部門では、総支配人、イングバル・ハーランド (Ingvar Herland) をはじめとする技術者が、日々独自の技術開発に積極的に取り組んでいます。また、各ホテルの客室内に設置されたゲストルームテクノロジーを、お客様のご滞在中もオペレーション状況を常に自社のコントロールパネル上で管理し、必要に応じて遠隔操作を行ないます。

この度、ザ・ペニンシュラ香港での導入が初となるインタラクティブデジタルタブレットは、全室のベッドサイドやテーブルに設置され、ご宿泊のお客様に合わせて、事前に言語の設定 (日本語、英語、フランス語、標準中国語、広東語) が可能です。また、レストランメニュー、ホテルサービス、新しく導入されたオンラインライフスタイルジャーナル“ペン・シティ” (ウェブ上の情報提供サイト) および地上波テレビやインターネットテレビ、ノイズキャンセリング機能を搭載したラジオを自由自在にコントロールすることができます。壁に設置されているLED タッチパネルでは、照明や温度の調整やカーテンの開閉、お客様係りの呼び出し、天気の確認、言語の変更、プライバシー設定などがワンタッチで可能となります。デュアル電圧 (110V/240V) の電源ソケットやチャージャーなどのデジタル設備は、目につかないキャビネット内などに設置されているなど、快適さと機能性にも重点を置き、細部にまでこだわったデザインが施されています。

また、ネスプレッソ®コーヒーマシンからクルミ材を使用しベージュレザーが施されたライティングデスク、照明・鏡付きの化粧テーブルまで、お客様のご滞在をより快適にする工夫が凝らされています。また、客室内では、地上波テレビだけでなく、90 チャンネル以上のインターネットテレビと 460 チャンネルのインターネットラジオを、インタラクティブデジタルタブレットとテレビで別々にストリーミングしてお楽しみいただけます。また、46 インチのブルーレイ内蔵フルハイビジョン液晶テレビ (スイートルーム: 55 インチ) が完備されており、無料の HD 映画をお楽しみいただけます。さらに、VOIP 電話により市内への通話や国際通話が、客室内からはもちろん、ホテルのロールスロイスの車内からも無料でご利用いただけます。

【その他標準設備】

バスルーム ■ 大理石のバスルーム ■ 2ヶ所の洗面台 ■ 広々とした豪華なバスタブ、シャワーブース、独立トイレ ■ 地上波テレビ、インターネットテレビ、インターネットラジオ ■ LED タッチパネル ■ ハンズフリー電話 ■ 体重計 ■ ヘアドライヤー ■ バスロープ、スリッパ ■ バスルームアメニティ	■ ムードライト ■ サウンドシステム AV&通信機器 ■ 光ファイバーの有線・無線高速インターネット接続無料 ■ メモリーカードリーダー ■ CD/VCD/DVD プレイヤー ■ CD/DVD ライブラリー ■ iPod / iPad のドッキングステーション ■ パーソナルファックス ■ ボイスメール、スピーカー付電話 (2 回線)
--	--

また、すべての客室には、中国水墨画や動植物画からヒントを得たアートも配置しております。三次元の曲線が特徴的な金属製の花、レーザー加工を施したステンレス鋼の葉や枝の壁デザイン、花柄からインスピレーションを得た布地の室内装飾品、シノワズリ風(中国をイメージし独特の素材や装飾を用いた様式)のクッションカバーなどが客室の優雅な雰囲気をより一層引き立てます。

「イノベーション(=革新)は、弊社において伝統(=DNA)の一部であります。お客様のニーズに焦点を当てた最新のテクノロジーの導入により、今まで以上のパーソナルサービスが可能となり、まったく新しいラグジュアリーな体験をご提供することで、更なる“ペニンシュラ・スタンダード”の確立を図り、ホテル業界における確固たる地位を築いてまいります。」とザ・ペニンシュラホテルズの最高業務執行責任者(COO)、ピーター・C・ボーラーはコメントしています。



今回のリニューアルオープンにより、香港で最も長い歴史を持つ格式あるホテルとして世界中からお客様をお迎えしてきた同ホテルは、世界のホスピタリティ業界においてその主導的な地位をより確かなものにすると共に、80余年の間受け継いできた伝統や文化、最上級の“ペニンシュラ・ホスピタリティ”にさらなる礎が加わります。

【香港上海ホテルズ社 会社概要】

香港上海ホテルズ社(以下:HSH)は1866年に香港ホテル社として創設され、香港証券取引所に最初に上場した会社のうちのひとつです。HSHは、現在9つのザ・ペニンシュラホテルズを香港、上海、東京、北京、ニューヨーク、シカゴ、ビバリーヒルズ、バンコク、マニラなどアジアおよびアメリカの主要9都市において展開、また、商業・住居用物件の所有および運営を手がけています。HSHの主要株主はカドゥーリー家で二十世紀初頭より株を所有しており、現在では株の所有率は全体の約57%にのぼり、そこから生ずる利子が長期に亘っての投資の核となっています。高品質の商品やサービスを提供することがHSHの哲学となっており、質の高いペニンシュラブランドを保っています。

ご取材に関するお問合せ先 ザ・ペニンシュラホテルズ

日本地区	広報コーディネーター	羽根 昌紀	masakihane@peninsula.com
日本地区	広報コーディネーター	鮫島 由里子	yurikosamejima@peninsula.com
Tel : (03) 6270 2525 Fax : (03) 6270 2608 (広報直通)			